

エが 公民館報

第317号

御意見・御希望・お問い合わせは四賀公民館まで… TEL 64-3112

四賀の世帯数・人口

世帯数	1,945 世帯
人口	4,530 人
男	2,188 人
女	2,342 人

(平成30年7月1日現在)

第14回
四賀の5月、薫風の中、熱い戦いが展開
四賀地区球技大会開催

●平成30年度 第14回四賀地区球技大会 結果●

競技種目	ブロック・コート	優勝	町会
ソフト バレーボール	第1・2ブロック	葵	刈谷原町
	第3・4・5ブロック	IKARI A	井刈
ソフトボール	Aブロック	しんまち	新町
	Bブロック	ほんまち	本町
	Cブロック	原山	原山
	Dブロック	赤怒田	赤怒田
ゲートボール	1コート	井刈A	井刈
	2コート	穴沢A	穴沢
	3コート	宮本A	宮本
	4コート	執田光A	執田光
	5コート	藤池	藤池
	6コート	宮本B	宮本
	7コート	刈谷原A	刈谷原町
	8コート	宮本C	宮本
ラージボール 卓球	第1ブロック	刈谷原A	刈谷原町
	第2ブロック	刈谷原B	刈谷原町
マレットゴルフ	福寿草・赤松 Aブロック	横川A	横川
	福寿草・赤松 Bブロック	召田	召田
	菅ノ田・松茸 Cブロック	反町	反町
	菅ノ田・松茸 Dブロック	ほんまちA	本町

気持ちの良い5月の風の中、晴天に恵まれた27日、四賀地区球技大会の5種目が各会場で繰り広げられました。



第33回 四賀コンサート

平成30年 9月8日(土)

午後4時30分開演
(開場4時00分)

会場…四賀小学校体育館
チケット…500円(中学生以下無料)
《お問い合わせ》
TEL: 0263-64-3112

四賀コンサート実行委員会事務局 (四賀公民館内)

久しぶりの雨が梅雨入り宣言の日となった翌日の六月七日、雨の心配は無し。
修那羅石神仏群とはどんなものかとの興味もあってウォーキングに参加することにした。
四賀とよく似たような山間をバスでいくつも抜けた。山道の途中で下車し、初夏の爽やかな空気を胸いっぱい修那羅山安宮神社に向かった。
三十分程歩き、到着した先には様々な表情の石神仏たちが私たちを向かえてくれた。俗世間から一歩離れたようなその場所には神々しい空気が漂っていて日常の煩わしさを忘れさせてくれた。
本編れ日の
下になっさり鎮座する
修那羅の山の石神仏
(小林康男さんからの投稿)



第14回四賀地区福祉の集い



講演は増田明美さん

第十四回目となる「四賀地区福祉の集い」が、六月十六日(土)にピナスホールで開催されました。オープニングはピアノソロ狭間由香さんの演奏でスタート。聞き覚えのある曲を選んだということ、みんなが知っている曲目、おおよそ三分の楽しい演奏を聞かせてくれました。

開会式典では表彰・感謝状の授与が行われました。その後の「生きがい」のある生活とは…をテーマにした活動紹介では、四賀地区でサロン活動をしている刈谷原町・井刈・両瀬の状況が報告されました。町会が主体となつて住民が楽しく交流している姿はうらやましくもあり、多くの町会の今後の活動への参考になったと感じました。

さらに「出会い…」の大切さについて、元松本盲学校の教員の小林鈴美さんのお話がありました。経験に基づいた、

障害を持つ人と出会い、交流する時の細やかな心遣いが感じられました。

講演はスポーツジャーナリストで元マラソンランナーの「増田明美」さんが「自分という人生の長距離ランナー」を演題に話されました。若い時から注目されて華やかに見えても、きつい練習に明け暮れ、多くの苦労や失敗があつたことなどを、明るく楽しく話してくれました。

最後は恒例の花鉢抽選で今年の「福祉の集い」は幕を閉じました。

平成30年度 四賀地区地域づくり協議会総会

6月22日、ピナスホールで「四賀地区地域づくり協議会」の総会が開かれました。昨年度の会計報告と、今年度の活動計画、予算などが協議・議決されました。



少子高齢化の中で「安心していきいきと暮らせる住みよい地域社会」をつくるために「協働」して「主体的」に活動する地域の力を結集し四賀の地域づくりを!



会田中学校 車座集い

会田中学校で六月十二日(火) 車座集いを開催し「今をよりよく生きるために」について話し合いを行いました。

話し合いの話題提供として、旧四賀村の村長を務めた中島学さんから「どんな環境でも夢を持つと〜戦争体験を通し今、伝えたいこと〜」をテーマに生徒らに日々を大切に生きるように語りかけました。

十六歳で海軍に入隊した中島さんは、特攻隊として配属された長崎県で「地獄絵のよう」な「原爆の惨劇から「毎日」を大切に過ごしてほしい」と呼びかけました。

また、この日は松山三四六さんが司会として参加し、自らの著書「ワインガール」についての話をし、同本十冊の寄贈も行いました。

サマーチャレンジ



社会福祉協議会四賀センターが、七月一日にサマーチャレンジポランテアを開催し、四賀小学校の児童四十人が参加しました。

お昼には、松本大学健康栄養学科の学生と一緒に「トウモロコシご飯」「ハンバーグ」などを調理しました。

午後は、デイサービスセンター「ふくふくの郷」を訪問し、お年寄りや風船バレーボール等のゲームを通じて交流を行いました。

そして、子ども達は、世代、学年を越えて人とのつながりや生きる力を学びました。

四賀地区担当
伊東 裕輔 保健師

四賀支所にいます!

● 8月の日程

8月 6日(月)	8月 20日(月)
① 8:30~12:00	① 13:00~17:15
② 13:00~17:15	8月27日(月)
	① 8:30~12:00

お気軽にご相談ください

湧き水

▼ワールドカップサッカー。世界ランキング3位のベルギーに勇猛果敢に立ち向かった日本代表サムライジャパンが決勝トーナメント、ベスト8直前に敗退した。勝利寸前で奈落の底に落とされた心境であろう選手たちが、ロッカールームを清掃し、そこにロシア語で『スパシーバ』(ありがとう)のメモを残していたことが写真つきでツイートされた。選手たちをはじめ、日本人サポーターがスタジアムを清掃する姿に世界が感激した。

▼これらは、何も今が初めてではない。日本人が毎回していることでもあり、今回は、感銘を受けた対戦相手のセネガルやチュニジアのサポーターもならつて清掃をしたとのことである。ツイートされたことにより、海外の人ばかりではなく、我々日本人も改めて、同胞の行動に日本の美徳を思い、世界から称賛される日本に誇らしさを覚えるのだ。

▼美しい日本は、その風景だけではなく、心のあり方であると思う。私たちは、サムライジャパンと、ロシアまで出かけていった日本人サポーターに国際社会でのあり方を教わったような気がした。